

9月定例議会

20年度決算を認定



完了した大山中耐震補強工事

各課の連携強化を

9月定例議会は、9月8日から29日までの22日間の会期で開かれました。平成20年度決算認定と平成21年度補正予算、条例改正等の38議案、議員提案の1議案を審議し、原案のとおり可決しました。

決算審査特別委員会は、長引く経済不況のもと、滞納対策への意欲的な取り組みは評価したものの、およそ6億1600万円に及ぶ各種税金・使用料等の未収金、滞納総額の49・8%を占める住宅新築資金等貸付金や、19年度と比較し徴収率が低下した国民健康保険税への対応は、行政の課題であり、関係各課総力をあげて、さらなる滞納対策の充実・強化に努めるよう求めました。

まちのふところ具合は!?

町民1人あたりの貯金の額…18万円、
借金の額(一般会計と特別会計の合計)…135万円

平成20年度の決算で、基金(町の貯金)は33億9888万円と前年度に比べ2億4410万円増えました。一方、町債(町の借金)は前年度に比べ11億7387万円減少しましたが、それでもまだ一般会計と特別会計を合わせて251億2752万円の借金が残っています。

(単位:万円)

区分	20年度	19年度	前年度との比較
基金(町の貯金)	33億9888万円	31億5478万円	2億4410万円
町債(町の借金)	一般会計	137億3051万円	140億8339万円
	特別会計	113億9701万円	122億1800万円
	計	251億2752万円	263億139万円

普通会計…歳入では、町民税が2783万円、固定資産税が3107万円の増額、地方交付税では普通交付税が3億2820万円の増額、国・県補助金では、定額給付金事業補助金2億7000万円、地域活性化補助金4902万円の増額等により、歳入合計は、前年度に比べ金額で3億3113万円、率で3.2%の増となった。

歳出では、人件費が1億2109万円の減額、建設事業費が小・中学校耐震補強工事、情報通信基盤整備事業の完了により、2億8645万円の減額、後期高齢者医療特別会計への繰出金6843万円の純増等により、歳出合計は、前年度に比べ金額で2億2921万円、率で2.3%の増となった。

(単位:万円)

項目	20年度	19年度	比較増減	説明	
歳入	町税	16億2946万円	15億7740万円	5206万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
	国県支出金	14億8228万円	12億2520万円	2億5708万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
	地方交付税	50億6767万円	48億1594万円	2億5173万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
	町債	9億6840万円	12億9740万円	△3億2900万円	町が事業を行うために借り入れるお金
	その他	15億7335万円	14億7409万円	9926万円	使用料・財産収入・特別会計からの繰入金・繰越金
合計	107億2116万円	103億9003万円	3億3113万円		
歳出	人件費	17億4523万円	18億6632万円	△1億2109万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	物件費	15億2121万円	14億8915万円	3206万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
	建設事業費	12億5005万円	15億3650万円	△2億8645万円	道路整備・建物等の建設に使うお金
	補助費等	13億1024万円	10億4662万円	2億6362万円	補助金・負担金として支出するお金
	公債費	18億6510万円	16億6414万円	2億0096万円	町の借金を返済するために使うお金
	繰出金	14億4038万円	13億3540万円	1億0498万円	特別会計に繰出金として支出するお金
	その他	11億3528万円	11億0015万円	3513万円	扶助費(医療費・児童手当)・貸付金などに使うお金
合計	102億6749万円	100億3828万円	2億2921万円		

※普通会計…一般会計に土地取得、住宅新築資金等貸付事業、開拓専用水道事業、情報通信事業など公営事業会計以外の特別会計を加えたもの